

30年度改善点 結果報告

◆託児コーナー 小学校1年生を対象者に加えた。

結果：小学生利用13名、スタジオ利用時託児93名

◆健康増進エリアの利用者拡大を図る。

- ・ジムエリアでは、声掛けを重視し利用者満足度向上を目指した。結果毎月前年比で増えてきている。(前年比+2,300人)
- ・スタジオプログラムは時間帯・若年層向けプログラムを改善した。
- ・ピラティスを始め継続開催のスタジオイベントが好評だった。
ラダー3回/年、ピラティス2ヶ月に1回、レップリーボック年3回。
- ・新体操や空手体験教室を開催し、ジュニアの利用者が増えた。(前年比+239人)
- ・アンケート要望により、男性パワーヨガ、ズンバ、ジム&ラン、パンチシェイプボクシングを新規開催しました。

◆コンベンションホール扉の改修。

- ・アコーディオン扉にしたため、外れることも無く安全になった。

◆アンケート結果：マナー関係の指摘が多かった。

対応：マシンジムを中心にマナーアップ月間を実施し、利用マナーの基準をご利用者に分かるようにした。

スタジオでのマナーアップ月間を実施し、より快適に運動していただける基準をご利用者に分かるようにした。

◆前回の協議会で質疑が出たご意見対応。

- ・高齢者のやり過ぎ問題があるご指摘に対し、1~2レッスンが適正である旨の啓蒙を行ない成果は出てきている。
- ・靴ロッカーにお金を入れられない利用者がある。このことに対し利用者意見の聞き込みを行ない、半分コインロッカー半分靴棚方式として対応した結果、問題なくスムーズにご利用いただいている。

◆以上の改善の他、

- ①利用者へのサービス向上で、特にご利用者の立場に立ったコミュニケーションや運動指導に力を入れてきた結果、利用者の定着率が上がっていると判断している。根拠の一つとして、契約ロッカー待ち期間が以前は3ヶ月から6ヶ月で入れたのが現在は昨年6月に予約した人が入り始めている状況。今後契約ロッカーの増設を検討しています。
- ②シルバー層が歳を重ねても継続していただけており、定期券購入者で見ると88才の方を先頭に年々利用者年齢が高齢化し、人数も増えております。その意味では、ご利用者にとって健康寿命が年々伸びているということで、健康増進目的には貢献できているのではと思います。
- ③文化教室も好評で、人数も増えてきています。中でも昨年度開校した書道教室はキャンセル待ちも出るほど好評の為、来年度は2教室体制にします。